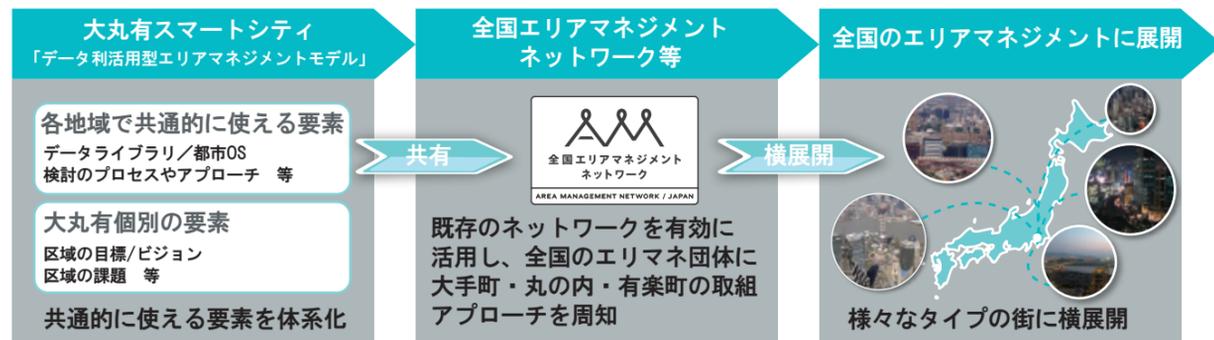


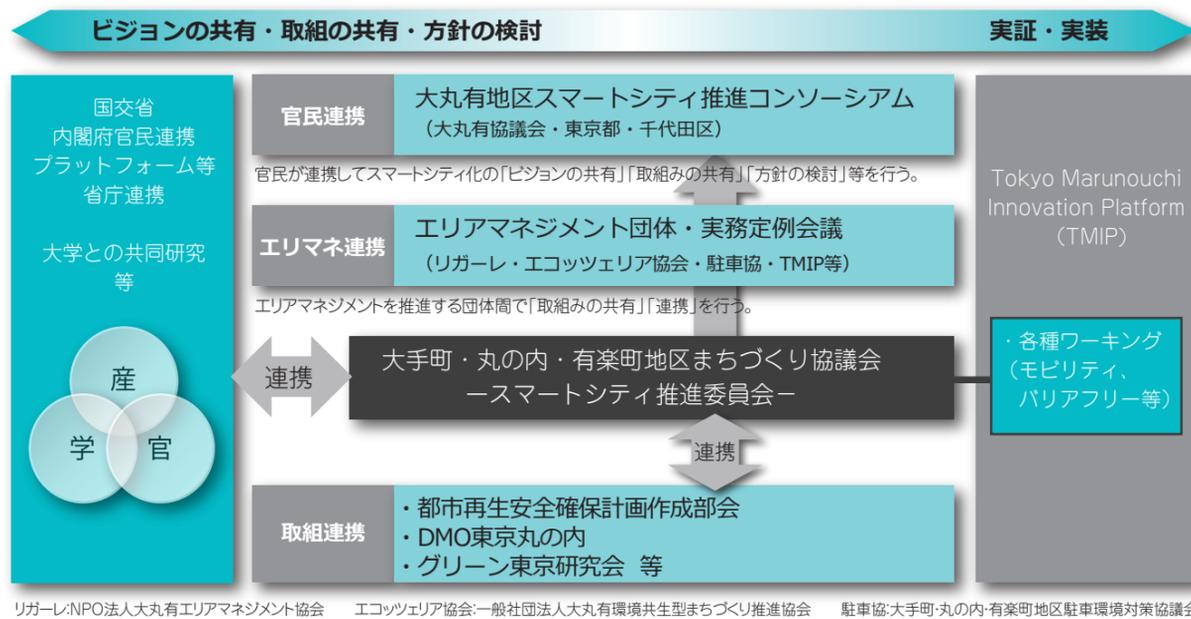
日本全国への展開・世界への発信

本地区の「データ利活用型エリアマネジメントモデル」は、既成市街地においてエリアマネジメントに取り組む地域に広く適用可能であり「全国エリアマネジメントネットワーク」等様々なルートを通じて、スマートシティの仕組み構築のアプローチを全国に横展開します。
また、日本全国のスマートシティとの横連携も検討していきます。



実現するための体制

産・官・学・エリアマネジメント団体が協働・協創し、スマートシティの実現を目指します。
またTMIPと密に連携を図り、各種サービス実証・実装を目指していきます。



スマートシティとは

都市のデジタルとリアルが高度に融合し、新技術を活用して都市課題を解決する社会「Society5.0」。そしてその舞台となるのが「スマートシティ」です。日本では国を挙げてスマートシティの実現を推進していますが、中でも大手町・丸の内・有楽町地区は、都心におけるスマートシティを最先端に実現し、東京・日本の国際競争力向上を目指していきます。

INFORMATION

大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム
(一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会・東京都・千代田区)
【代表者】一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
TEL : 03-3287-6181 FAX : 03-3211-4367 Mail:machizukuri@otemachi-marunouchi-yurakucho.jp

大丸有まちづくり協議会 Search

スマートシティのイメージ動画は協議会HPをご覧ください。

TOKYO MARUNOUCHI SMART CITY VISION

challenge and speed make it smart!

大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム



ビジョンオリエンテッドによる スマートシティの実現

大手町・丸の内・有楽町地区ではまちづくりの目標としてP.P.P.の概念に基づき公民が連携して『まちづくりガイドライン』を策定しています。これに掲げる将来像、まちづくりの目標を達成するためにIoTやAI等の技術や都市のデータを活用することで、都市機能のアップデートと都市空間のリ・デザインを実現していきます。スマートシティにより「創造性」・「快適性」・「効率性」を飛躍的に高めることで、より先進的かつ創造的で、サステナブルな都市の実現を目指します。

VISION まちづくりの目標



- 1 時代をリードする国際的なビジネスのまち
- 2 人々が集まり賑わいと文化のあるまち
- 3 情報交流・発信のまち
- 4 風格と活力が調和するまち
- 5 便利で快適に歩けるまち
- 6 環境と共生する持続可能なまち
- 7 安全・安心なまち
- 8 地域、行政、来街者が協力して育てるまち

まちづくりガイドライン

創造性
Creativity



イノベーションを創造し国際競争力あるビジネスを推進する交流・出会いのある街
※スマートシティにより飛躍的に高まる価値の方向性

快適性
Amenity



ウェルネスを高め誰もが自分らしく心豊かに安心・安全・便利に活動できる快適な街

効率性
Efficiency



サーキュラーエコノミーを実現する環境と親和した街、ロボットや自動化を導入し効率的な街

新技術・データの活用により、日常・非日常のポテンシャルの拡大、レジリエンスの増大を図ります。



人々が活発に「交流」し熱量がある街へ



どんな時でも「快適」かつ「スマート」に過ごせる街へ



特別な「非日常」の体験に出会える街へ



緊急時でもより「安全」「安心」に過ごせる街へ



スマートシティを 実現するための取組



データライブラリーモック <https://prot tapp.com/p/023a78> ダッシュボードモック <https://prot tapp.com/p/16f903>

都市空間のリ・デザイン

都市を様々なサービスの実証の場「リビングラボ」として活用。データを活用したシミュレーション等も通じて将来の都市空間のリ・デザインを検討します。

リビングラボイメージ



都市空間のリ・デザイン像



エリアマネジメントのデジタルトランスフォーメーション Area Management by Digital Transformation

